

出張報告書

幹事長印	経理責任者印

平成30年5月29日

幹事長

阪口 均 殿

出張者氏名 阪口 均 印

浦川 佳浩 印

坂上 昌史 印

下記のとおり報告します。

- 出張先 田尻町総合保健福祉センター
- 出張日時 平成30年5月22日
- 出張用務 全国コンパクトタウン議会サミット
- 旅費等

セミナー費用 12,000 円

総計 12,000 円

平成 30 年 5 月 22 日 (火)

田尻町で開催された「第 8 回 全国コンパクトタウン議会サミット」に参加。このサミットは全国の面積が約 20 平方キロメートル以下の町から参加意思のある議員によって組織されている。目的は近しい町が抱える重要課題を研鑽・意見交換・審議し、元気あふれ個性豊かな町の振興と住民福祉の向上のために活動することである。今回の参加自治体は全部で 16 自治体 (うち 1 自治体はオブザーバー)

【サミットの内容】

開会挨拶・来賓挨拶の後、メインの基調講演があった。講師は大阪観光大学名誉教授の「中尾 清氏」で前半は「観光で輝くまちづくり」がテーマの講演であった。講演の内容は、年々増えている観光客を取り込むために、自治体としては魅力ある観光づくりに取り組んで観光客の誘致活動をしなければならないというもので、後半は出席の各議員が席をシャッフルし、グループごとにそれぞれの町にどんな観光資源があるのか？どんな魅力があるのか？をディスカッションする時間で、そのディスカッションの内容をグループの代表者が発表し、講師がそれに対して評価するものであった。

【サミットに参加して】

・感想 阪口

近年観光客の目的が“爆買い“から”日本らしさ探し“に変わってきている。日本人が知らない (感じてない) 日本の魅力を見つけて、わざわざへき地まで足を運ぶ外国人が急増している。後半のディスカッションの中で熊取町の観光資源 (魅力) として、だんじり祭り・水ナス・自然・お地蔵さん・中家・熊取コロッケ・教育のまち・子育てのまち・長池オアシス・雨山・等々列挙したが、その中で他自治体の議員さんが羨ましがったのは、だんじり祭りだった。とにかく色々な情報を外に向けて発信し、その魅力に共感されるような状況を作り出すことが我々の責務であると痛感した。

・感想 浦川

中尾先生の説明のなかで、熊取町の観光資源の発掘や観光地へのインストラクターとして欠かせないのが観光ボランティアガイドの設置だと伺った。当時まだ無かった「熊取にぎわい観光協会」を立ち上げ、観光ボランティアガイドを育成する事から始まったというご説明があった。

本町は残念ながらインバウンドへの取り組みで目立ったものはまだ無いが、参加された他市町の自治体では、外国語に精通したボランティアによるガイドや、空き家を利用したゲストハウスを使った有効利用で町が活性化している等のお話を伺った。

今回参加の自治体は熊取町と同様、比較的小さな自治体であるがゆえの知恵と工夫を凝らしたアイデアを多くご教授頂いた。本町においても、隣接する泉佐野市の在留外国人はどんどん膨れ上がっているため、泉佐野市とタッグを組んだ取り組みも今後考えなければならない。本町での観光資源の掘り起こしと、他市とタッグを組んで、広域で町の活性化に繋げるための施策を今後行政にも提案したい。

・感想 坂上

中尾名誉教授の基調講演での『観光で輝く街づくりとは』、自治体において強力な観光行政組織を創り、『観光立国』に向けた条例制定や厳しい財政をやりくりして、観光誘致宣伝活動や魅力ある観光づくりに、取り組まなければならないということであった。

この講演で改めて感じたことは、「厳しい財政をやりくりする」というところで、観光づくりに新たに予算を投入しないで現在あるものを活かして、魅力的に発信していくか知恵を出し合わないとはダメだということだ。熊取町の観光は様々な取り組みをしているものの、見せ方、発信の方法に工夫が必要であると感じた。


領 収 書

一 金 44,000 円 也 4,000円 × 11名.

但し、第8回全国コンパクトタウン議会サミット参加費として

上記のとおり領収いたしました

平成 30 年 5 月 22 日

第8回全国コンパクトタウン
議会サミット実行委員長
田尻町議会副議長
金田 裕治 

熊取町議会 殿